

【 部門目標・評価 】

目 標

- 1 医療安全文化を醸成するために事例検討会参加率や研修受講率を上げる。

【目標1】 院内の医療安全管理委員会は下記2つの条件をクリアする。

- 初期研修医師の参加 8回以上/年 (義務付け修了証を発行)
- 委員会メンバー以外参加 平均10人/回 事例検討当該部署、SCT委員会を含む
病院職員

【目標2】 研修受講率100%達成を目指す。

- 全体研修会 2回 (6月 10月)
 - 第1回 集合研修とビデオ視聴によるフォローアップ
テーマ 「患者・家族とのコミュニケーション」
SOMPO リスクマネジメント 関 悠希
 - 第2回 集合研修とそのときのビデオ視聴によるフォローアップ
テーマ 「職業倫理」
医師法 保健師助産師看護師法 臨床検査技師法 放射線技師法
臨床工学技師法

- 2 医療安全マニュアルの改訂(第6版の策定)

- 各項目の担当部署に6月末までの修正や変更について依頼をする。
- 修正内容を医療安全室で確認し、医療安全管理委員会に提出し承認を得る。

- 3 事例検討の活性化を図る。

【目標1】 RCAやImSAFERなどの分析手法を使用し、事例検証の精度を上げる。

- SM会議のメンバーとともに医療安全室で事例検討を行う。(2回/年以上)
- 発生部署のスタッフが、主体的に事例検討が行えるよう医療安全管理者が支援する。
(2回/年以上)

【目標2】 医療事故調査に関わる会議の開催(M&Mカンファレンスや状況確認会議等)

- 有意義な意見交換をするためのマネジメント
 - ・事例に関連した資料の確認

評 価

- 1 医療安全文化を醸成するために事例検討会参加率や研修受講率を上げる。

目標1の初期研修医に対しては、事例検討会等の前に副院長から毎回メールを出し参加を呼びかけ、修了書の発行など参加意識の向上を図るための対策を講じたものの、研修医の参加率は、38%程度に留まった。

今年度も引き続き、新型コロナ感染への対策のため、密を避けるために積極的な参加を促さなかったこともあり、委員以外のメンバーの参加者は3人/回程度だった。次年度以降も、感染状況の影響は避けられない可能性があるものの、委員以外の参加方法について工夫したい。

目標2については、1回目の受講率94%、2回目の受講率99%と100%目標を達成することができなかった。

2 医療安全マニュアルの改訂（第6版の策定）

医療事故の検討会やカンファレンスにおいて、改定が必要だと思われた項目を中心に各担当者に見直しを行い、第6版の発行を実施した。

3 事例検討の活性化を図る

目標1については、毎週火曜日のカンファレンスの機会にRCAやImSAFERなどの分析手法を使うことはなかったものの、積極的に事例検討をおこなった。また、今年度は、各病棟で分析し改善策まで考えたことについて医療安全室に報告される事例があった。

目標2については、M&Mカンファレンスを2回開催した。また、医療安全管理委員会で事例検討を行い参加者との意見交換を行った。

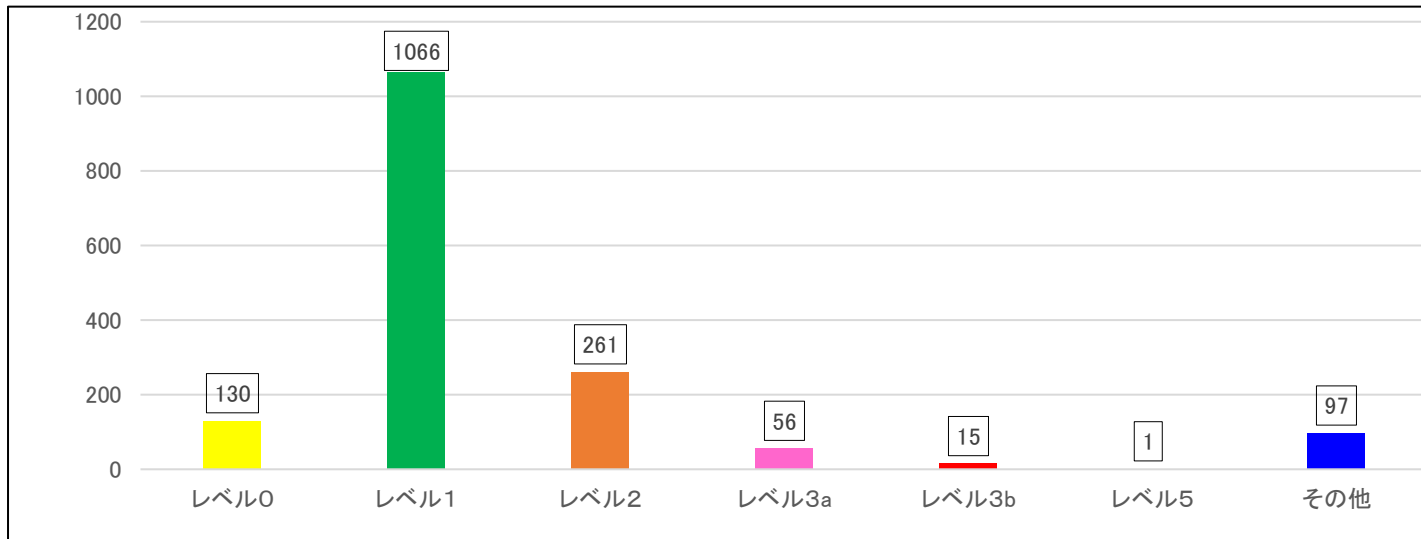
【 業務体制・スタッフ 】

役職名等	氏名	マネジメントに関する資格等	業務
医療安全室長 副院長	金澤 正樹	医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・院内の医療安全管理体制の構築・推進 ・医師を対象とした医療安全管理の啓蒙指導 ・M&Mカンファレンスの企画・運営
医療安全室主幹	須田 峰子	医療安全管理者 認定看護管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・院内の医療安全管理体制の構築及び推進 ・医療安全室の専従職員の労務管理 ・人材育成
副医療安全室長 (専従)	伊藤 由華利	医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全対策の体制確保のための各部門との調整 ・医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修の企画・実施・評価 ・重大な事故発生時の院内の組織的な対応 ・訴訟等に関する弁護士・保険会社との調整
医療対話推進者 (専従)	小原 義巳	医療対話推進者	<ul style="list-style-type: none"> ・患者や家族からの苦情および相談・暴言暴力対応に関する研修の企画・運営
医薬品安全管理責任者 (兼任)	野崎 利浩	医療安全管理者 医薬品安全管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全使用のための研修の企画・運営 ・医薬品安全使用のために必要となる情報の収集及び院内周知
医療機器安全管理責任者 (兼任)	田野 史晃	臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器安全使用のための研修の企画運営 ・医療機器の保守点検の適切な実施についての監査及び指導・情報収集及び周知
医療安全担当 事務	田口 博一		<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する会議・研修会の庶務

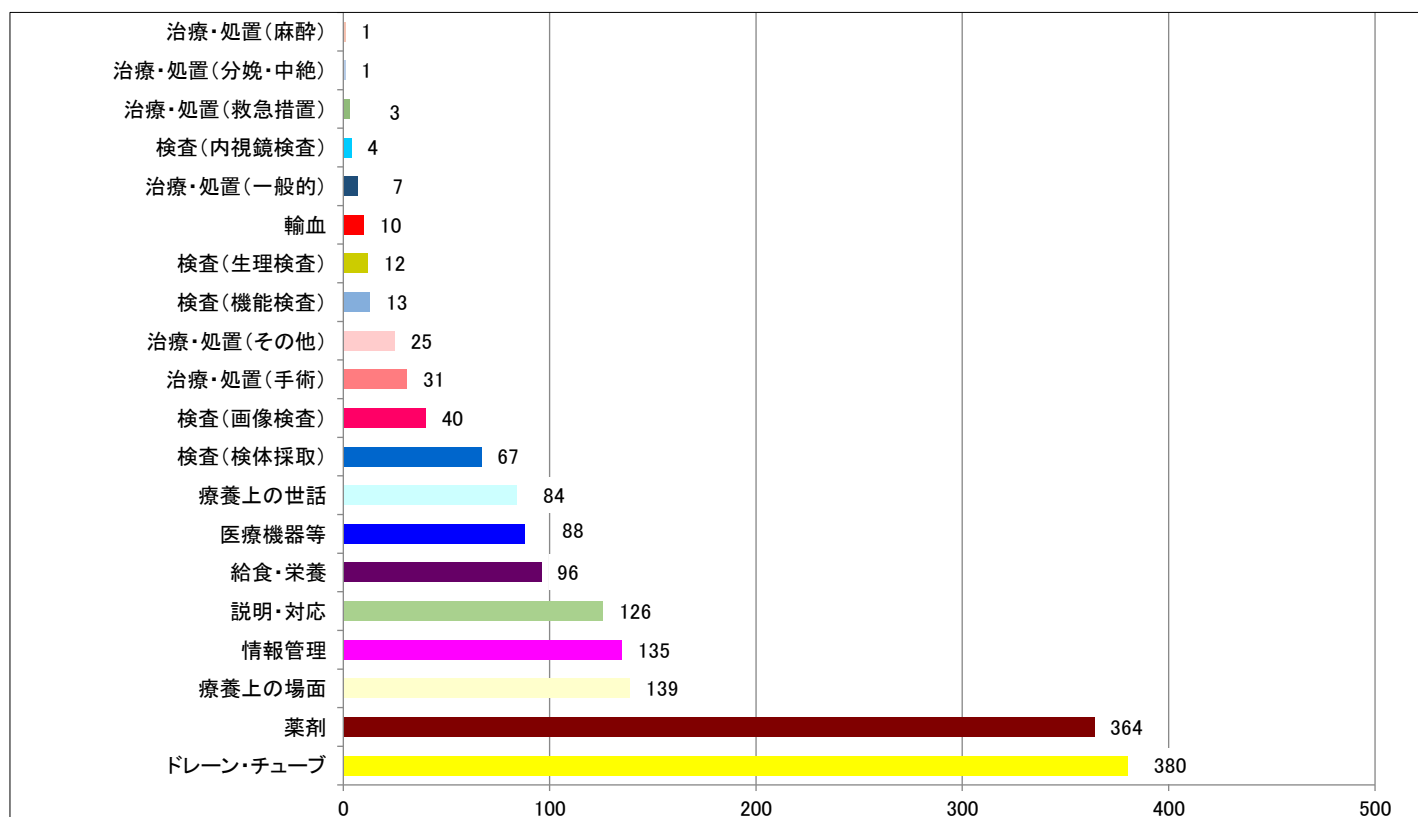
【業務実績】

〈インシデント報告数より〉

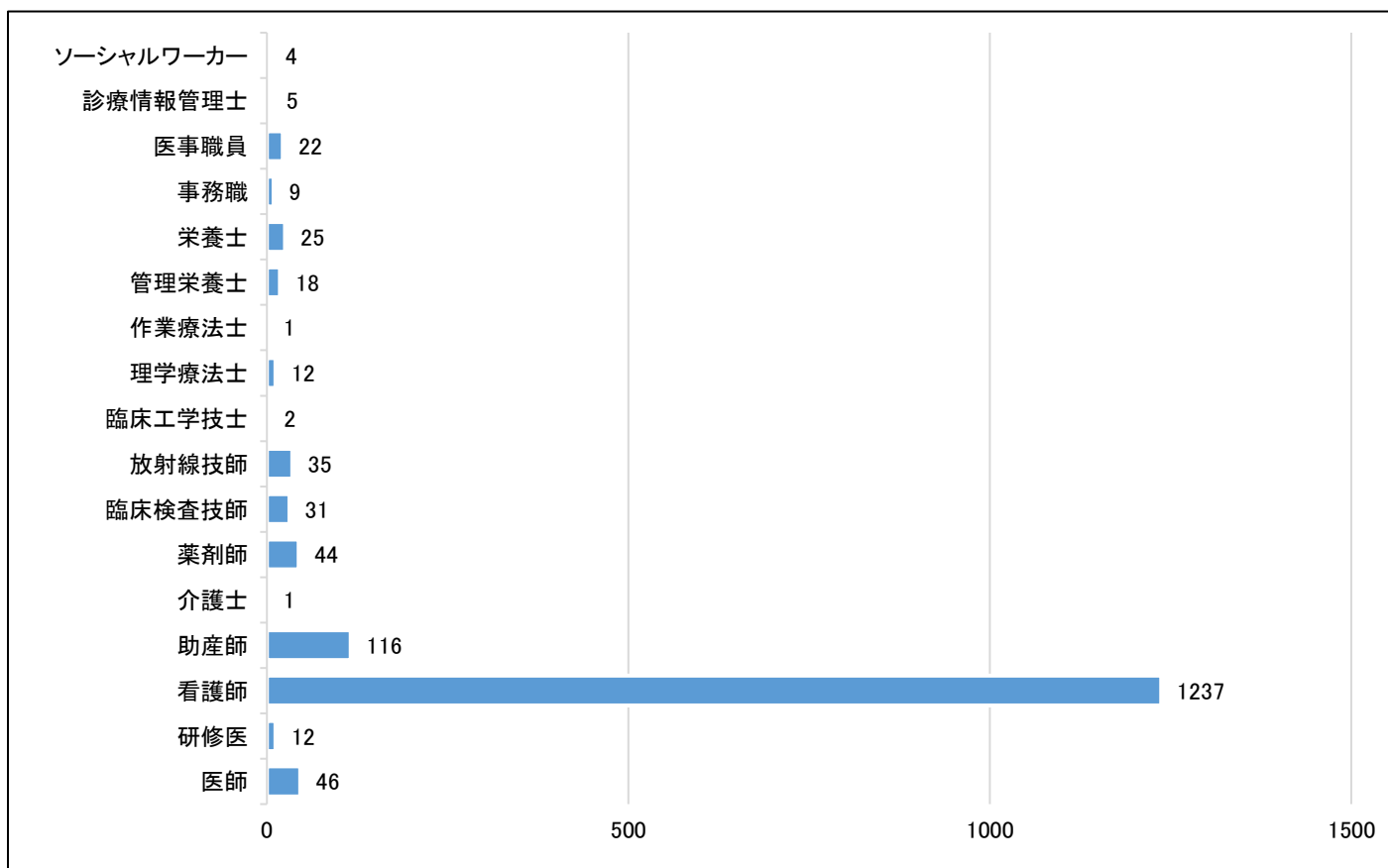
1. 報告総数:1626 件	インシデント(レベル3a 以下)	1513 件
	アクシデント(レベル3b 以上)	16 件
	その他(暴言・暴力、苦情、レベル不明など)	97 件



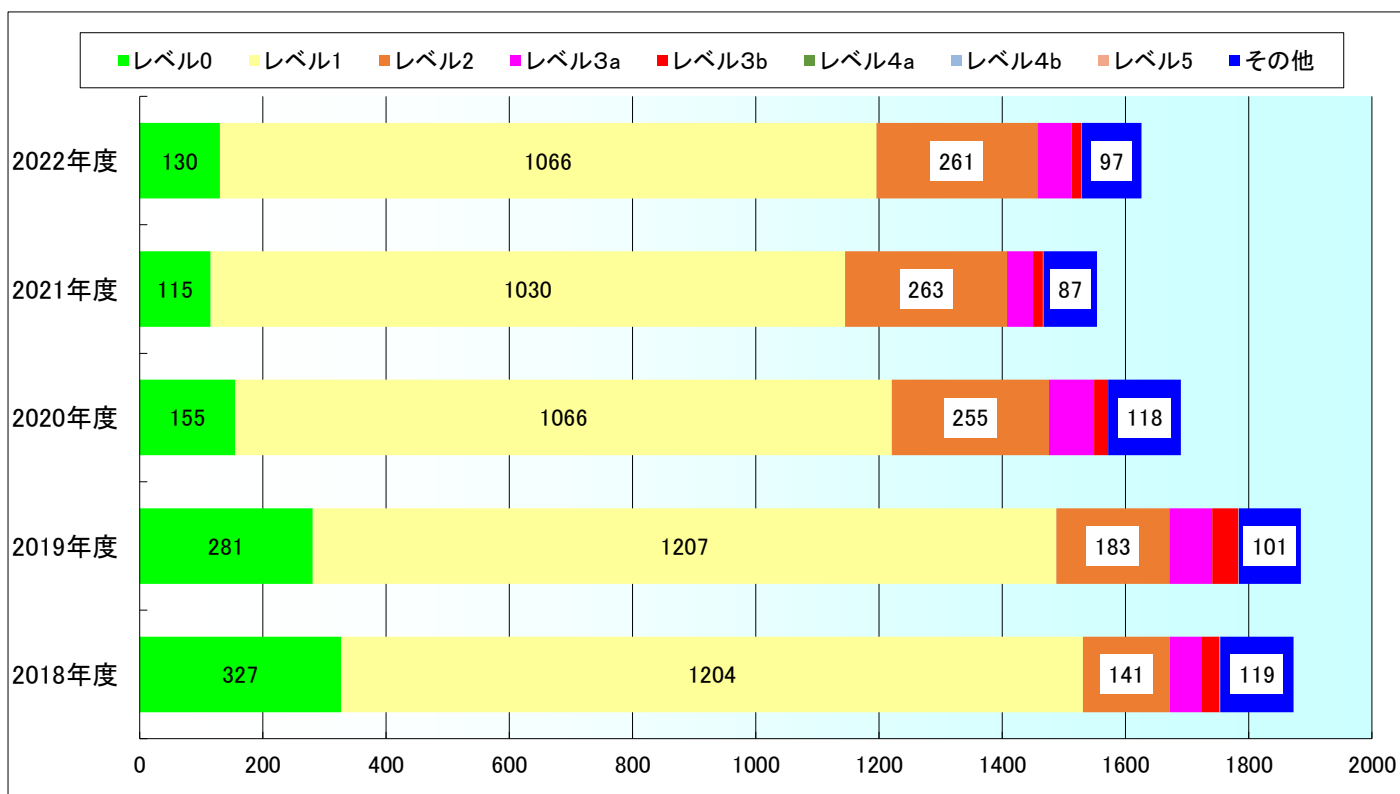
2.報告内容別件数



3.報告者別件数



4. レベル別報告数 年度別推移



【令和4年度 医療安全研修】

分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講者数
必須研修	第1回 医療安全研修会	「患者・家族とのコミュニケーション」	6月	全体	延べ 443人
		研修会終了後のe-ラーニング研修	6月～ 9月		
	受講率 94%				
	第2回 医療安全研修会	「職業倫理」について eラーニングの受講	11月 ～ 3月	全体	延べ 482人
受講率 99%					
医療安全 教育	新採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	4月	新採用者	
	中途採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	6月 9月 11月 2月 3月	中途採用者	
	チャレンジラダーレベル1	KYT・インシデントレポート	5月	看護師	23人
医療機器	輸液ポンプ・シリンジポンプ 研修会	使用方法・取扱の説明	7月	新規採用者 看護師 研修医	28人
薬剤	第1回 医薬品の安全使用講習会	1. がん治療に関連した薬剤 2. 簡易懸濁法について	6月	全体	53人
	第2回 医薬品の安全使用講習会	1. ニフレック配合内用剤の使用方法 2. 電子カルテ移行に伴う薬剤関連の 運用変更点	2月	全体	26人
その他	心肺蘇生研修	BLS	随時	全体	全職員
		ICLS	6月 10月 2月	全体	12人 7人 12人

【令和4年度 資格取得・更新研修受講】

受講研修	職種	取得人数	更新
医療安全管理者	看護師	2名	—
	医師	—	—
	放射線技師	1名	—
	臨床工学技士	1名	—
医療対話推進者	看護師	6名	—

【1年間の総括】

インシデントレポートの報告件数は前年度より72件増加した。全報告件数の中で、医師の報告割合は2.8%、研修医の報告割合は7%だった。継続的に医師の積極的な報告の推奨、診療局における研修医への指導が重要とされる。

前年度は医療事故の検証・再発防止に向けて医療倫理に関わる症例検討会の開催を行い、今年度は職業倫理に関する研修を企画・実施した。日々提出されるインシデントレポートの報告状況から職種や職位により、医療倫理に対する心がけの違いがあることから、今後も病院全職員が一丸となって取り組む課題となる。

- 1 医療安全管理委員会の活性化（事例検討を重視）
- 2 インシデントレポートの積極的提出
- 3 医師の提出率UP 目標10%（通常5%程度が推奨される）
- 4 オカレンス項目の設定と手術バリエーション報告の徹底
- 5 死亡事例の全症報告
- 6 インフォームド・コンセントのガイドライン策定・改訂及び遵守
- 7 M&Mカンファレンスの開催
- 8 産科保障制度や医療事故調査制度の活用
- 9 研修への参加促進（受講率目標100%）